

## 清水建設株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、清水建設株式会社が発行する第31回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年12月16日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、東京都江東区豊洲に建設した「MEBK S豊洲」「交通広場デッキ（豊洲MiCHiの駅）」の建設資金、データプラットフォームやサービスの構築費のリファイナンスに充当する予定です。

また、本債券の発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の「ソーシャルボンド原則 2021」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」、「グリーンボンド原則 2021」、環境省の「グリーンボンドガイドライン 2020年版」及び金融庁の「ソーシャルボンドガイドライン 2021年版」に適合する旨のセカンドオピニオンを株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上